

TE-W19PSAシリーズ 取付マニュアル

TE-W19PSA シリーズ（以降本製品と記述）の取り付けには、車両部品の取り外しや加工が必要になります。本紙に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

⚠危険

マニュアル車へ取り付けすることは、絶対にしないでください。マニュアル車は、冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐため、パーキングブレーキをかけずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れて駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態でエンジンスタートを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ大事故につながります。



●マニュアル車には、取り付けできません。



●12V車専用です。トラックなどの24V車には、取り付けできません。



●外車・特種用途自動車には、取り付けできません。

●年間を通じ、始動操作をして2秒程度でエンジンのかからない車には、取り付けできません。

●雨滴感応ワイパー装着車には、取り付けできません。取り付けすると車両故障の原因となります。

⚠注意 本製品およびオプション・アダプター類の取り付けには、車両電装に関する専門知識が必要です。車両への取り付けは、お買い求めの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。

⚠注意 配線作業時は、車両バッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーを接続したまま作業を行うと、コードをカシメる際やコードの接続時に工具が車体金属部分に触れてショートする恐れがあります。

⚠注意 あまったコード類はショートを防ぐため、必ず絶縁処理してください。また、ワンタッチコネクタやハーネスなどの接続部分には、必ず絶縁テープを巻いてください。

配線のしかた（ドアロック配線の方法は裏面をご覧ください）

1 車両が次の状態になっていることを確認します。



セレクトレバーがパーキング（Pレンジ）に入っている



（サイド式）（フット式）
パーキングブレーキがかけられている

イグニッションがOFFになっている

2 本体の取り付け位置を仮決めします。

取り付け位置は、アンダーダッシュ内です。

参考 まだ固定しないでください。

メモ 場所決めのポイント

- ・しっかり固定できますか？
- ・各ハーネスの長さは足りませんか？
- ・本体の設定スイッチは切り替えやすいですか？
- ・本体のアンテナ部分が車両の金属部分（ボディやコード類など）から5cm以上、離れていますか？（ETC、レーダー探知機、ナビゲーション機器のアンテナからはできるだけ離してください。）

3 付属のワンタッチコネクタで、フットブレーキハーネスの紫色のコードを、車両のフットブレーキペダル上部にある次のコードに取り付けます。

- ・フットブレーキを踏んだときに+12V
- ・フットブレーキを離れたときに0V

4 付属のワンタッチコネクタで、フットブレーキハーネスの黄色のコードを、車両のフットブレーキペダル上部にある常時+12Vのコードに取り付けます。

5 車種別専用ECUハーネス（別売）のアースコードを、車両の金属部分を固定している無塗装のボルトに共締めします。

- ⚠注意 アースが不完全だと動作不良の恐れがあります。アースは正しく取り付けてください。
- ⚠注意 オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じボルトにアースを取り付けしないでください。機器が誤動作したり、オーディオのメモリーが消失したりする恐れがあります。

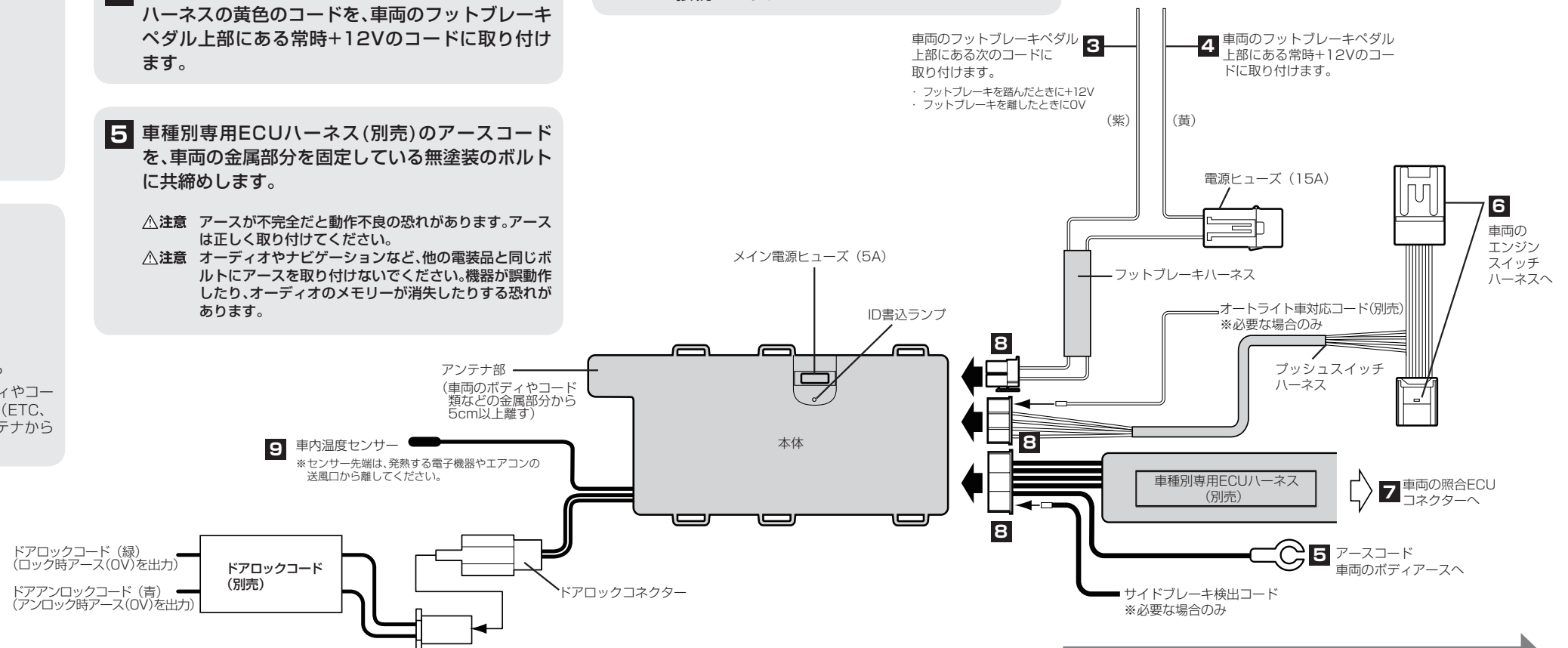
6 車両のエンジンスイッチ裏の14Pコネクタを抜き、本製品のプッシュスイッチハーネスを間に割り込ませるようにして接続します。

7 車両の照合ECUコネクタを抜き、車種別専用ECUハーネス（別売）を間に割り込ませるようにして接続します。

8 接続図に従って、3～7で車両に接続したハーネスを本体に接続します。

9 車内温度センサーを固定します。

車内温度センサー先端のセンサー部を、発熱する電子機器やエアコンの通風口から離して設置します。



ハーネスの取り付けが完了したら、裏面を参照して動作確認と本体の設定を行ってください。（ドアロック配線を行う場合も裏面参照）

動作確認と本体の設定

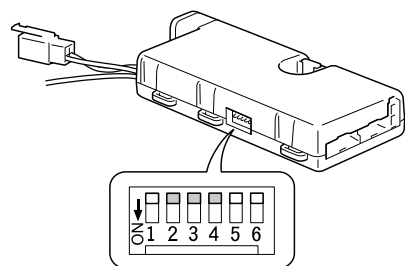
車両の特性や使用環境に合わせて本体の設定をする必要があります。

1 初期設定を行い、動作を確認します。

- すべての配線が完了した状態で、本体のID書込ランプが約1秒間隔で点滅していることを確認してください。
※ LEDが常に点灯している場合は、本体の設定スイッチ6がONになっていないか確認してください。
LEDが点滅しない場合は、フットブレーキハーネスを本体から一旦引抜き、15秒以上経過後、再び本体に接続してください。
接続してもLEDが点滅しない場合は、各配線の接続を確認してください。

2) 本体の設定スイッチ2~4の設定を確認します。

- ※メモ 通常は標準設定(通常)のまま使用してください。
- ※メモ 店頭の「車種別ハーネス適合表」や「車種別ピットマニュアル(取り付け情報)」に設定方法が記載されている車種のみ、設定を変更してください。
- 参考 正しく設定しないと、リモコン操作で正常にエンジンがかからない場合があります。



●車種設定

スイッチ2	スイッチ3	スイッチ4	車種設定
OFF	OFF	OFF	通常(標準設定)
ON	OFF	OFF	特殊1
OFF	ON	OFF	特殊2
ON	ON	OFF	特殊3

■は工場出荷時設定です。

- 純正のスマートキーを車内に持ち込み、ドアを一旦閉め、車両本来の方法(エンジンスイッチ)でエンジンを始動すると、イモビライザーの通信データを本体に読み込みます。
読み込みが完了するとID書込ランプが3回点滅した後、消灯します。

- エンジンを切りドアを開け、純正のスマートキーを車から離れた場所へ移動させた後、リモコンでエンジンスタートの操作を行い、エンジンが正常に始動するか確認してください。

- ※ エンジンスイッチがACC、イグニッションONの状態ではリモコンでエンジンが始動できません。
エンジンスタート使用の際にはエンジンスイッチをOFFの状態にしておいてください。

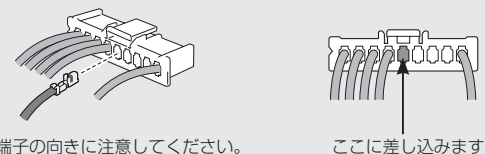
- ※メモ 車種設定を誤ったまま、イモビライザーのデータを登録してしまった場合は、フットブレーキハーネスを一旦抜き、15秒経過後、再び本体に接続して登録データを消去してから、再度車種設定し直し、データを登録してください。

- ※メモ エンジンがかからないときは、取扱説明書の「エンジンスタート機能が作動しないとき」を参照して対処してください。

サイドブレーキ配線が必要な場合は、2~4の作業を行ってください。

- ※メモ 寒冷地などでパーキング(サイド)ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

2 付属のサイドブレーキ検出コードを車種別専用ECUハーネス(別売)の9Pコネクターの指定位置に接続します。

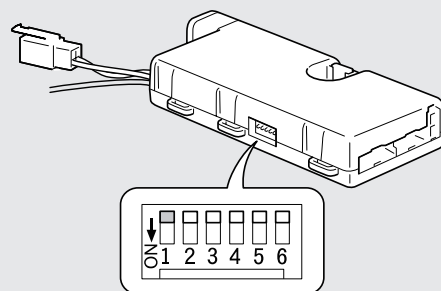


3 サイドブレーキ検出コード(橙)を車両の次のコードに取り付けます。

- ・パーキング(サイド)ブレーキをかけたときに0V
- ・パーキング(サイド)ブレーキを解除したときに+12V

- ※メモ 車両への取り付けは、市販のワンタッチコネクタを使用してください。

4 設定スイッチ1「パーキングブレーキ検出」を「検出する(下側)」にします。



●パーキングブレーキ検出設定

スイッチ1	パーキングブレーキ検出
OFF	検出しない(標準設定)
ON	検出する

■は工場出荷時設定です。

ドアロック配線を行う場合は、5~6の作業を行ってください。

- △注意 車種によってはドアロック機能が使用できないことがあります。店頭の車種別ハーネス適合表、または当社ホームページで確認してください。適合しない車両に配線すると、車両故障や不具合の原因になります。

5 ドアロック機能を使用するときは、次のように配線します。

- 別売のドアロックコード(TE202)の緑コードを次の条件を満たすコードに接続します。

- ・車両のドアロックスイッチを押したときに0V(アースと導通)
- ・スイッチを離しているときに+12V

- ドアロックコードの青コードを次の条件を満たすコードに接続します。

- ・車両のドアアンロックスイッチを押したときに0V(アースと導通)
- ・スイッチを離しているときに+12V

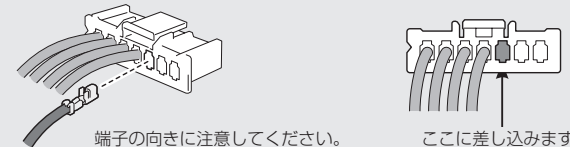
- ドアロックコードのコネクタをしっかり差し込みます。

6 ドアロック配線を行った場合は車両のドアをすべて閉めて、ドアロック機能の動作を確認します。

オートライト車対応コードの配線を行う場合は7~9の作業を行ってください。

- △注意 車種によっては、オートライト車対応コードが使用できない、または不要場合があります。店頭の車種別ハーネス適合表、または当社ホームページで確認してください。適合しない車両に配線すると、車両故障や不具合の原因になります。
- ※メモ オートライト車対応コードを配線した場合、エンジンスタートを使用した際、エンジン停止後に車両の室内灯が約1秒間点灯します。

7 別売のオートライト車対応コード(TE204)を、プッシュスイッチハーネスの7Pコネクターの指定位置に接続します。



8 TE204に付属のワンタッチコネクタで、オートライト車対応コードを車両の次のコードに取り付けます。

- ・車両の運転席のドアを閉めたときに+12V
- ・車両の運転席のドアを開けたときに0V

9 設定スイッチ5「イルミ検出」を「検出しない(下側)」にします。

●イルミ検出設定

スイッチ5	イルミ検出
OFF	検出する(標準設定)
ON	検出しない

■は工場出荷時設定です。

- △注意 オートライト車対応コードの配線が誤っていたり、配線をせずにイルミ検出の設定を「検出しない」に切り替えると、エンジンスタートを使用した際、エンジン停止後もヘッドライトが消灯せず、バッテリーが上がるおそれがあります。

10 本体を付属の結束バンド(大)でアンダーダッシュ内にしっかりと固定し、余ったコード類を付属の結束バンド(小)で運転の妨げにならないように束ねます。

11 付属の危険シールを、エンジンルーム内の目立つところに貼り付けます。



これで本体の取り付けと設定は完了です。

参考

車種別ピットマニュアル(取り付け情報)もご覧ください。ピットマニュアルの参照方法は、店頭の車種別ハーネス適合表をご覧ください。ただし、ピットマニュアルはオプションなどすべての配線を網羅するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

ワンタッチコネクタの使いかた

- 本製品のコードを差し込む
- 車体側のコードを通す
- プライヤーなどで金具を押し込む
- カバーをして絶縁テープを巻く

取り付けに関するお問い合わせ先

カーメイトサービスセンター
Tel:(03)5926-1216(代表)
Fax:(03)5926-1218